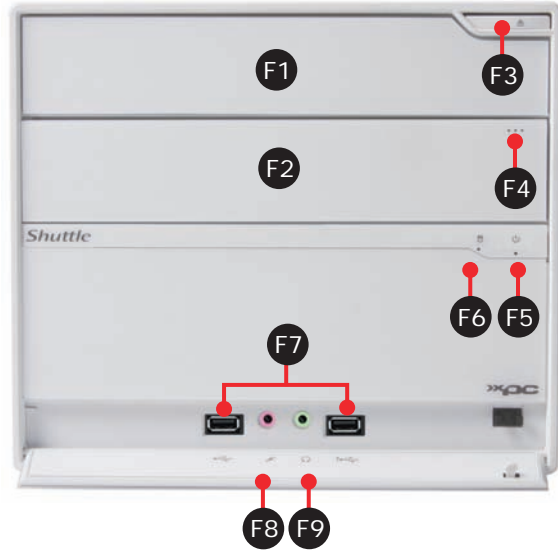


SH61R5 シリーズ クイックガイド【日本語】

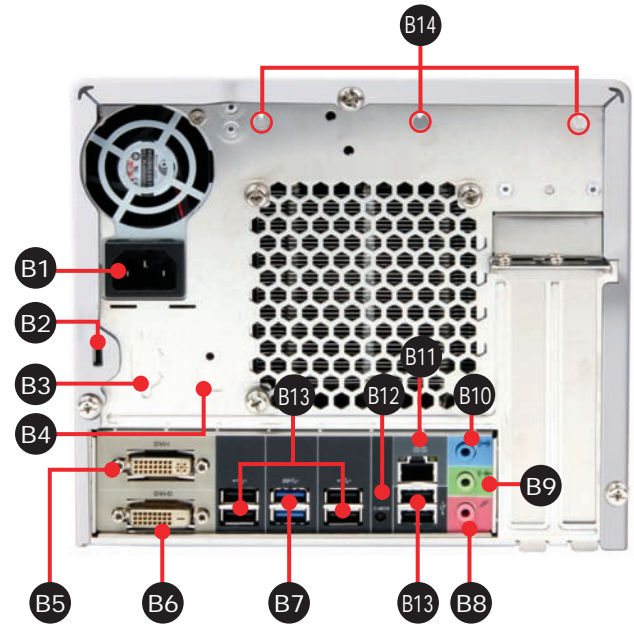
62R-SH61R1-0601 SH61R4
English, Spanish, Korean,
Traditional Chinese, Japanese,
French, German Quick Guide

正面パネル



- F1. 5.25" インチベイ
- F2. 3.5" インチベイ
- F3. 取り出しボタン
- F4. 開閉ボタン
- F5. 電源スイッチ / 電源LED
- F6. HDD LED
- F7. USB2.0 ポート
- F8. マイク
- F9. イヤホン

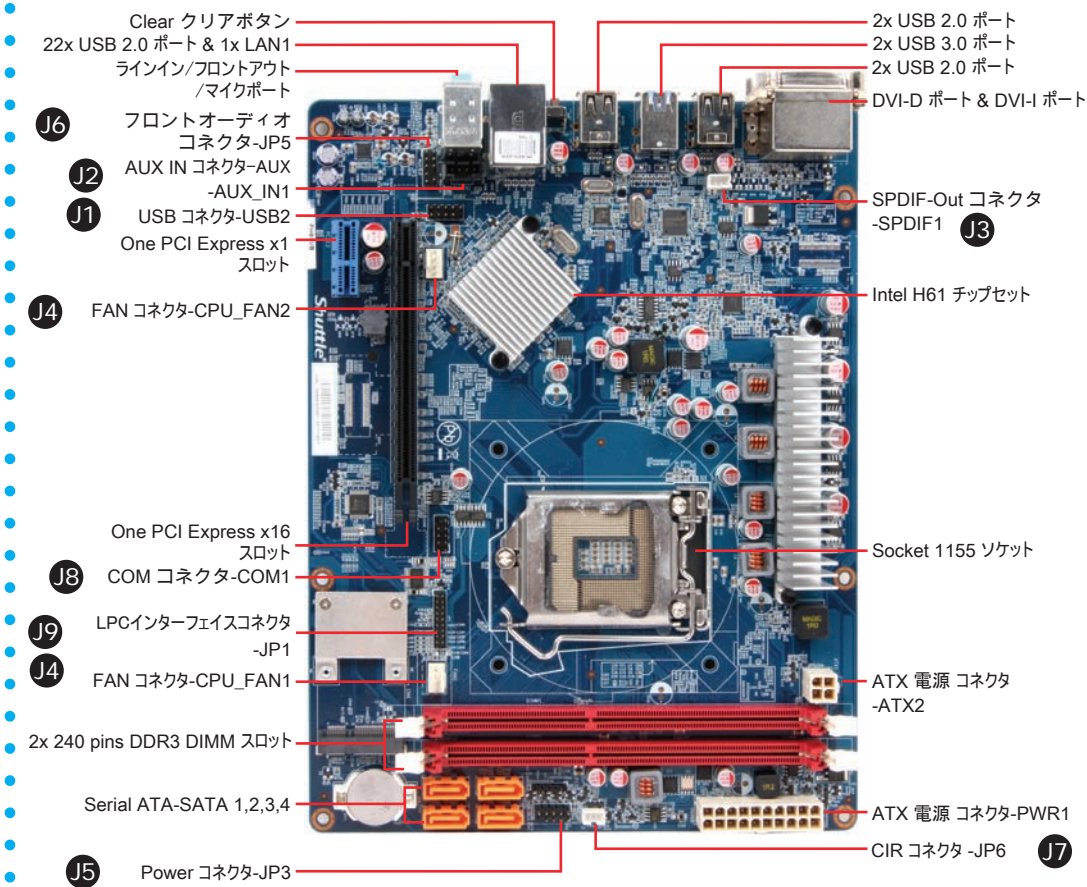
背面パネル



- B1. AC 電源ソケット
- B2. ケンジントンロック
- B3. シリアルポート追加用 (オプション)
- B4. SPDIF アウトポート (オプション)
- B5. DVI-I ポート
- B6. DVI-D ポート
- B7. USB3.0 ポート
- B8. マイク イン ポート
- B9. 正面アウト ポート
- B10. ライン イン ポート
- B11. LAN ポート
- B12. クリアCMOSボタン
- B13. USB2.0 ポート
- B14. ワイヤレスLANキット追加用 (オプション)

PCI expressにカードを挿入した場合、DVI-I & DVI-D ポートは動作致しません。

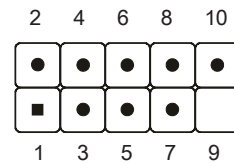
メインボード図



ジャンパ設定

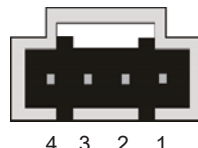
J1 USB コネクタ - (USB2)

- 1=5V_USB
- 2=5V_USB
- 3=USB A-
- 4=USB B-
- 5=USB A+
- 6=USB B+
- 7=GND
- 8=GND
- 9=NULL
- 10=NA



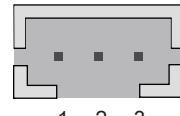
J2 AUX IN コネクタ - (AUX_IN1)

- 1=AUX_IN_L
- 2=Ground
- 3=Ground
- 4=AUX_IN_R

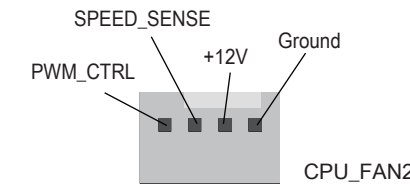
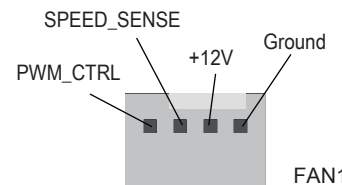


J3 SPDIF-Out コネクタ - (SPDIF1)

- 1=Ground
- 2=VCC
- 3=SPDIF_O

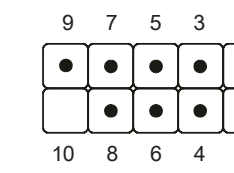


J4 FAN コネクタ



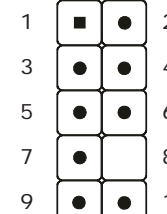
J5 Power コネクタ - (JP3)

- 1=+HD_LED
- 2=PWR_LED
- 3=-HD_LED
- 4=GND
- 5=RST_SW
- 6=PWR_SW
- 7=GND
- 8=GND
- 9=NA
- 10=NULL



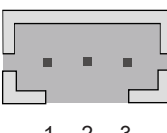
J6 フロントオーディオコネクタ - (JP5)

- 1=Front MIC_L
- 2=AGND
- 3=Front MIC_R
- 4=Front Audio detect
- 5=Head phone_R
- 6=Front MIC SENSE_Return
- 7=Front SENSE
- 8=NULL
- 9=Head phone_L
- 10=Head phone SENSE_Return



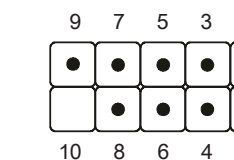
J7 CIR コネクタ - (JP6)

- 1=Ground
- 2=5V_DUAL
- 3=CIR-RX



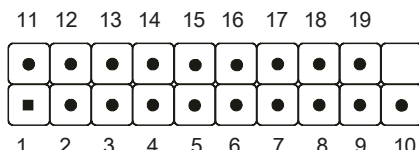
J8 COM コネクタ - (COM1)

- 1=DCD1
- 2=RX1
- 3=TXD1
- 4=DTR1
- 5=Ground
- 6=DSR1
- 7=RTS1
- 8=CTS1
- 9=XRI
- 10=NULL



J9 LPCインターフェイスコネクタ - (JP1)

- 1=+12V
- 2=5V
- 3=5VSB
- 4=SERIRQ
- 5=CLK-48M
- 6=CLK-33M
- 7=SIORST#
- 8=LFRAME
- 9=LAD3
- 10=LAD2
- 11=-12V
- 12=3VSB
- 13=RI
- 14=LDRO
- 15=PME
- 16=LAD1
- 17=LAD0
- 18=+3.3V
- 19=GND



安全に関する情報

Shuttle XPC をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。

注意

バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷する原因となります。交換する際は、Shuttleが推奨するバッテリーと同じもの、または同等のものだけを使用するようにして下さい。使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分して下さい。

レーザー準拠声明

このPCの光ディスクドライブは、レーザー製品です。ドライブの認証ラベルは、ドライブに記載があります。

クラス 1 レーザー製品

注意：開けると不視可レーザーが照射されます。光線の暴露を避けて下さい。

A. 取り付けの開始

安全のため、ケースを開ける前に電源コードを外していることを確認してください

- シャーシカバーの3本のネジを抜きます。
- カバーを後ろと上方向にスライドさせます。

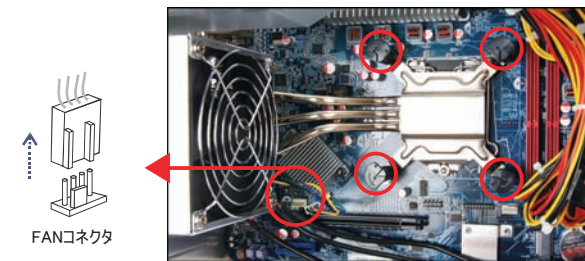


- 図の通りベイマウントのネジを取り外します。ベイマウントを取り外します。



B. CPUとICEの取り付け

- シャーシ背面のICEファンネジを外し
- FANコネクタを取り外し、ICEモジュールにあるネジを外します。

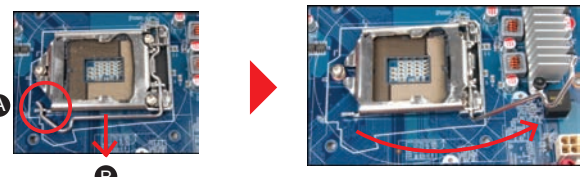


- ICEモジュールを引き上げるように引き上げるようにして取り外します。

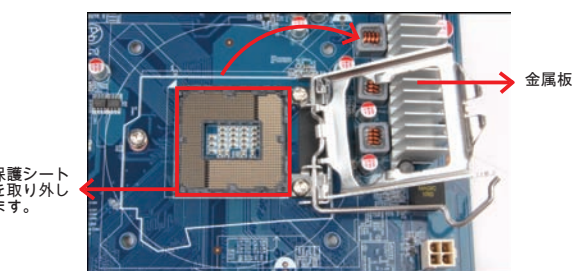
1155 ピンソケットは非常にデリケートなため、簡単に破損してしまいます。CPUを取り付ける際は、必ず細心の注意を払っていただきますようお願い致します。またCPU設置の際は、必ず電源をOFFにし、ケーブルが抜けている事を。

確認してから作業を行うようお願い致します。

- まずロックを解除します。A 部分を指で押すようにして、B の方向へずらすようにレバーを引き上げて下さい。

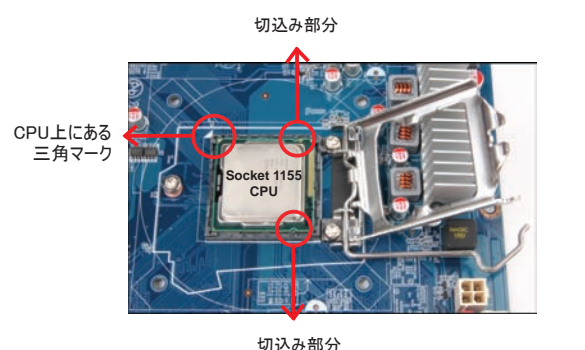


- CPUソケットの金属板を持ち上げます。



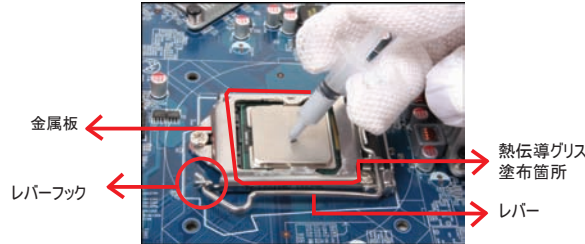
ソケット内部には絶対触らないでください。CPUを設置しない場合は、保護のためにプラスチックカバーを取り付けるようお願い致します。

- CPUとりつけの際は、CPU側の切り込みがソケット側と合うように、取り付ける向きを確認してから、取り付けして下さい。



CPUの設置には細心の注意をお願い致します。力強く差し入れるとCPU及びソケットの損傷につながります。

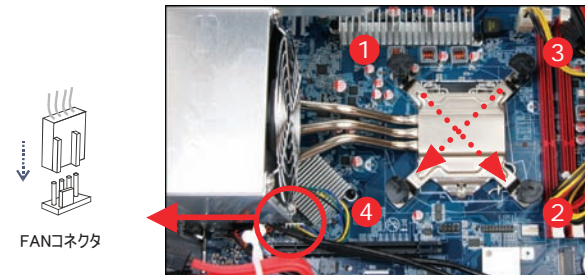
- 金属板を閉じ、レバーを下して固定します。
- CPUの表面に熱伝導グリスを塗布します。



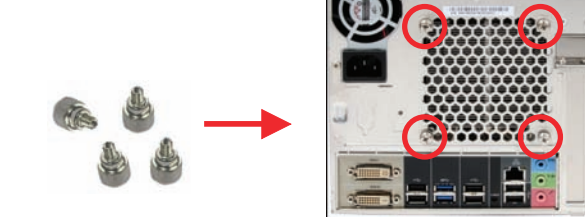
塗りすぎないように注意して下さい。

ICEモジュール底面にある保護シートをはがし、CPUソケットからも保護シートをはがして下さい。

- マザーボードへ差し入れたネジを締めます。それぞれ押し込むようにしながら締めるようにします。
- FANコネクタへコネクタを接続します。



- ケース背面の4つのネジを締めます。



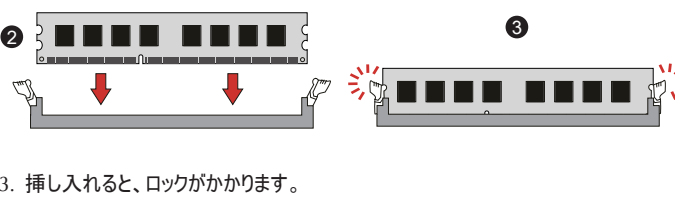
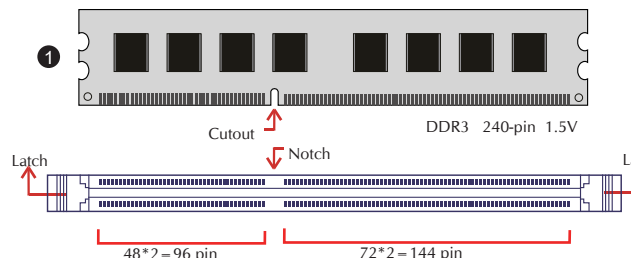
C. メモリーの取り付け

メモリーの取り付け

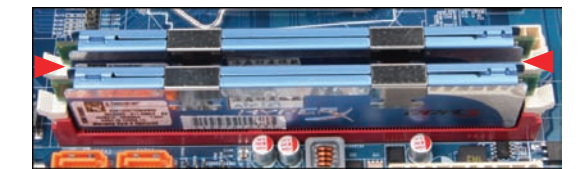
DDR3は、DDR/DDR2との互換性はありません。DDR3 DIMMが確実にマザーボードへ取り付けられている事を確認した後、お持ちのメモリーモジュールを正しくメモリーソケットへ取り付けのために次のステップへお進み下さい。

- DIMMのロックを外します。
- メモリーの切り込み位置を確認し、メモリーを挿し入れます。

DDR3メモリーの向きを間違えると、挿し入れる事はできません。



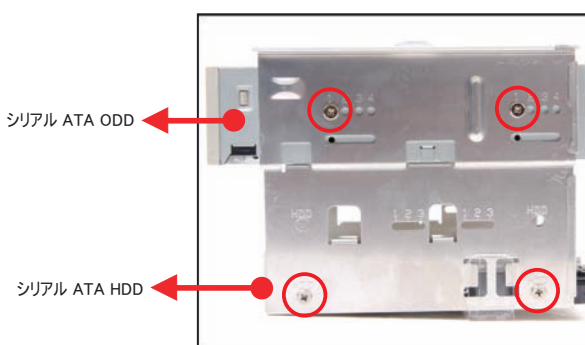
- 挿し入れると、ロックがかかります。



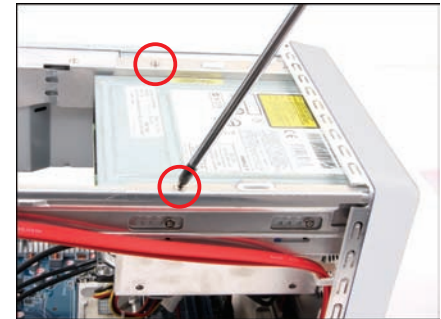
メモリーを追加する際は、同作業を繰り返して下さい。

D. 周辺機器の取り付け

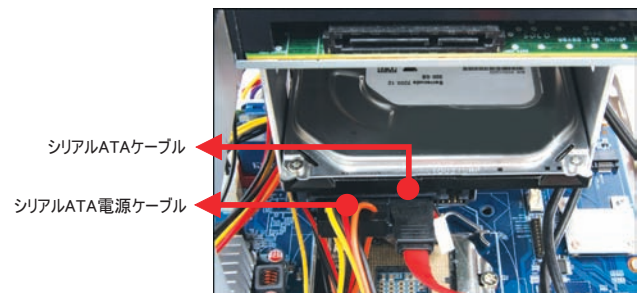
- 結束されているHDD電源ケーブルを取りだします。
- HDDをベイマウントに設置し、ネジを側面より締めます。



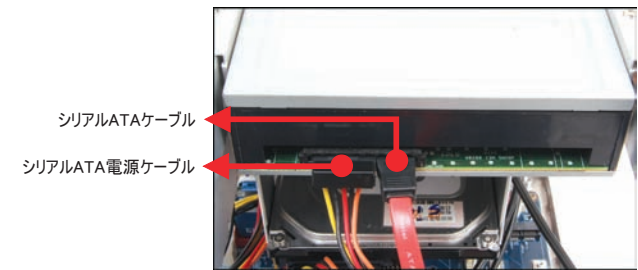
- ベイマウントを取り付け、ネジを締めます。



- シリアルATAケーブル及び電源ケーブルを HDDへ接続します。



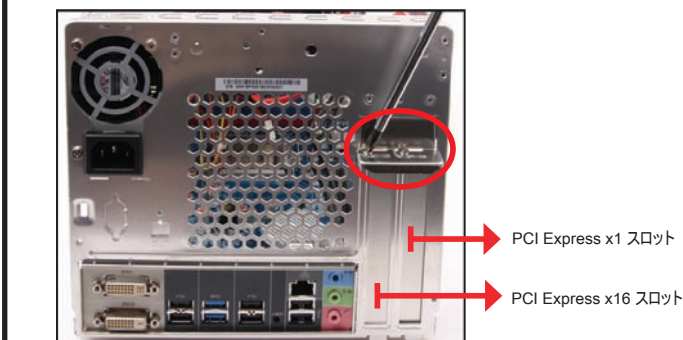
- シリアルATAケーブル及び電源ケーブルを HDDへ接続します。



E. アクセサリの取り付け

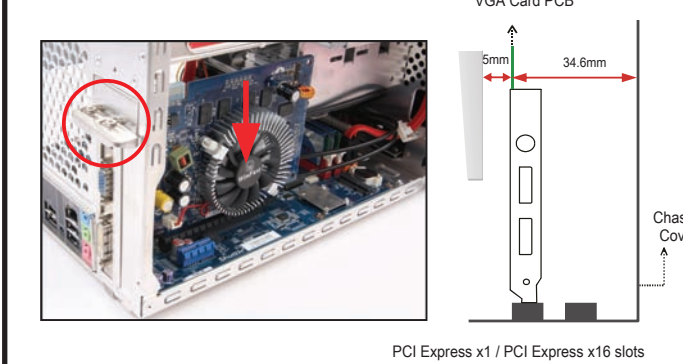
- ブラケットのネジを外します。ブラケット上部にある蓋を上げて、ブラケットを取り外します。

搭載可能なカードサイズは、267mm x 98mm x 34.6 mm までです。追加したい場合は、同作業を繰り返して下さい。



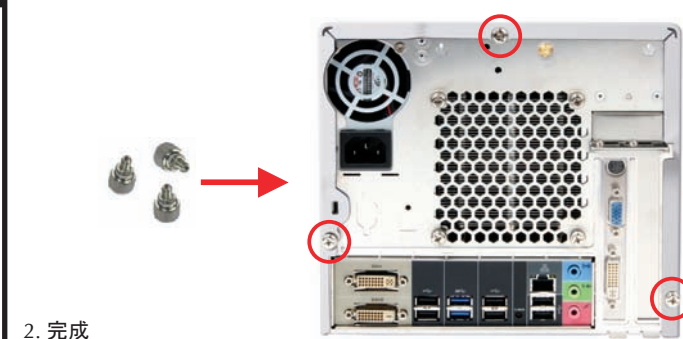
- 図にある通り、PCI Express x1/PCI Express x16 ビデオカードを挿し入れ、電源ケーブルを接続します。

- ブラケットを締めます。



F. 完了

- カバーを戻し、ネジを締めます。



- 完成

BIOS画面より Load the optimized BIOS を設定して下さい。